

R4年度やまと芸術文化ホールの運営状況について

資料2-1

1 利用状況(利用者数、利用件数、利用種別等)

項目	R4												累計	R3年度	R2年度
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
貸館利用件数(団体別)	218	194	209	231	233	195	231	270	247	226	229	260	2,743	2,373	1,008
大和市	11	5	10	15	55	8	47	95	46	60	33	31	416	175	83
指定管理者	17	16	41	26	17	21	22	21	17	22	57	52	329	367	194
国、地方公共団体	9	6	8	22	19	11	32	24	16	8	10	14	179	159	82
公共の団体	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	9	16	6	13
文化芸術振興	64	52	71	33	61	62	60	32	51	37	19	35	577	575	411
その他	116	115	79	135	81	93	70	93	117	99	109	119	1,226	1,091	225
貸館利用件数(用途別)	218	194	209	231	233	195	231	270	247	226	229	260	2,743	2,373	1,008
芸術(音楽、演劇、舞踊、美術等)	51	45	71	61	71	42	110	59	70	30	48	78	736	825	491
メディア芸術(映画、アニメ等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
伝統芸能(雅楽、能楽、歌舞伎等)	7	2	2	18	1	8	18	11	2	28	22	5	124	55	7
芸能(落語、漫談、歌唱等)	5	4	25	0	16	5	10	35	36	3	3	10	152	67	44
生活文化(華道、書道等)	84	70	56	78	91	64	52	69	95	75	74	84	892	688	158
講演会、集会、式典等	33	16	23	22	20	29	20	59	13	55	51	48	389	261	39
その他	38	57	32	52	34	47	21	37	31	35	31	35	450	476	264
貸館利用者数	11,762	10,258	7,272	10,094	14,107	10,586	17,874	23,736	16,684	13,221	12,616	24,504	172,714	99,156	41,153
メインホール	6,801	5,317	2,599	5,816	9,932	5,147	11,526	12,010	10,544	7,367	7,583	18,968	103,610	50,281	20,156
サブホール	2,274	2,808	1,485	2,317	1,892	1,526	2,681	2,869	3,308	2,910	2,324	3,635	30,029	21,847	8,445
ギャラリー	1,361	551	1,843	239	1,055	2,672	2,535	7,318	1,379	1,782	1,661	318	22,714	15,514	8,754
マルチスペース	1,326	1,582	1,345	1,722	1,228	1,241	1,132	1,539	1,453	1,162	1,048	1,583	16,361	11,514	3,798
文化芸術事業本数	1	1	2	1	3	0	2	2	2	3	3	4	24	21	11
芸術鑑賞事業	1	0	1	1	1	0	1	1			1	1	8	9	6
芸術創造事業															1
創造活動支援事業	0	0	1	0	0	0	0	0		1	1	3	6	6	3
人材育成、普及事業	0	0	0	0	2	0	1	0		2	0	0	5	4	0
連携事業	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	5	2	1
文化芸術事業延べ観客数、参加者数	736	90	1,083	880	914	0	885	723	245	453	1,448	3,421	10,878	5,364	2,778
芸術鑑賞事業	736	0	876	880	836	0	864	723	0	0	682	363	5,960	4,079	1,799
芸術創造事業															317
創造活動支援事業	0	0	207	0	0	0	0	0	0	154	346	3,058	3,765	683	521
人材育成、普及事業	0	0	0	0	78	0	21	0	0	299	0	0	398	150	0
連携事業	0	90	0	0	0	0	0	0	245	0	420	0	755	452	141

2 稼働率

項目	R4												累計	R3年度	R2年度
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
稼働率(日数単位)	87%	82%	88%	91%	92%	91%	98%	99%	99%	91%	97%	95%	92%	83%	54%
メインホール	92%	76%	74%	100%	100%	84%	100%	100%	100%	100%	100%	92%	93%	86%	58%
サブホール	92%	92%	96%	96%	92%	88%	92%	96%	100%	100%	100%	100%	95%	85%	55%
ギャラリー	62%	58%	82%	68%	75%	92%	100%	100%	96%	65%	88%	89%	81%	61%	38%
マルチスペース	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	99%	64%
稼働率(利用区分単位)	76%	66%	79%	80%	84%	76%	91%	96%	95%	83%	90%	90%	84%	71%	44%
メインホール	77%	53%	62%	82%	94%	57%	93%	96%	96%	92%	90%	80%	81%	71%	45%
サブホール	74%	68%	73%	73%	75%	68%	77%	91%	92%	82%	82%	95%	79%	65%	44%
ギャラリー	62%	58%	85%	68%	75%	92%	100%	100%	96%	65%	91%	89%	82%	61%	38%
マルチスペース	89%	86%	97%	97%	91%	85%	93%	98%	97%	93%	96%	95%	93%	88%	46%

2 文化芸術事業の実施状況

日付	会場	事業名	内容	料金	入場者数	収入
4月30日 (土)	メインホール	0歳からのオーケストラ ～ズーラシアンブラスmeets東京交響楽団	オーケストラとズーラシアンブラス（金管五重奏）による本格的なクラシックを提供した。0歳から入場でき、ベビーカーでご来場される親子も多く見受けられた。チケットは完売。子どもたちに上質な音楽を聞かせたいというニーズがとても高いことを実感できる公演だった。一緒に楽しめる要素も多く、演奏に合わせて小さな子どもも自ら手を叩いたり、体を動かしたりと会場全体が一体となった。終演後のホワイエは、親子の笑顔が溢れていた。	大人 3,500円 子ども (高校生以下) 1,500円	736名	2,325千円
5月8日 (日)	ギャラリー	おはなしにふれよう！ in シリウス 柳家あお馬 子どものための「落語のいろは」	図書館城下町事業「絵本のまち やまと おはなしにふれよう！」を構成する1つのイベントとして、大和市出身の柳家あお馬を起用し、子どもに向けた落語入門を実施。落語の所作や小道具の紹介から、「転失気」「寿限無」など、小さな子どもたちでもわかりやすいネタを披露。お客様からは、また実施して欲しいとのコメントも寄せられ、日本伝統芸能に関心を寄せる第一歩を後押しすることができた。	無料	①午前の部 (未就学児向け) 48名 ②午後の部 (小学生以上向け) 42名	0円
6月2日 (木)	メインホール	オフ・ブロードウェイ・ミュージカル「Forever Plaid」	大和市出身・長野博氏が出演するミュージカル。全国ツアーの一つとして、大和での凱旋公演が実現した。生バンド演奏に華やかな衣装や照明、卓越されたパフォーマンスに加え、観客を巻き込む演出など、会場全体を魅了した。市外からも多くの方がご来場され、40代・50代を中心とした新たな客層の誘致にもつながり、当館の認知度向上にも貢献した。	9,000円	876名	7,938千円
6月26日 (日)	メインホール	市民がつくるコンサートVol.3	大和市内で演奏活動を行う市民を対象に出演者を公募。今回はオカリナ演奏の2団体が出演した。1団体目は80代以上で構成されるオカリナアンサンブル。2団体目は、オカリナとギターによる異色の編成。演奏内容に加え、年齢に関係なく音楽へ勤しむ姿は、観客に感動と元気を与え、温かな雰囲気に包まれたコンサートとなった。	無料	207名	0円
7月18日 (月・祝)	メインホール	錦織 健&荘村清志 デュオ・リサイタル	響き豊かなメインホールの特性を存分に活かし、マイクを使用しないアコースティックのスタイルで開催。アリア、日本歌曲、歌謡曲、カンツォーネなどに加え、ギター・ソロも交えたプログラム。澄み渡る歌声と繊細でかつ、力強いギターの音色に、満席の観客は終始魅せられた。また、トークから垣間見えるお互いへの敬意や信頼、お二人の人物によって、あたたかな雰囲気に包まれたコンサートとなった。アンケートでもご好評の声を多くいただくことができた。	S席：3,500円 A席：3,000円	880名	3,128千円
8月6日 (土)	メインホール	こどものための楽器体験 PAN NOTE MAGIC for KIDS	ドラム缶を加工し、南国トリニダード・トバゴで生まれた打楽器スティールパンを取り上げた。メインステージ上にパフォーマンスエリアと参加者エリアを設置し、普段とは異なる特殊な体験空間を創造した。対象を未就学児向けと小学生以上向けに分け、年齢に合わせた体験内容を実施。参加者からは普段触れることの出来ない楽器の鑑賞と体験、またステージ上での開催に対する特別感も好評で、非常に高い満足度となった。あわせて、今後も継続して欲しいとのご意見も多くいただいた。	無料	36名	0千円
8月7日 (日)	サブホール	ナプア・グレイグwithハワイアン・フラ・ダンサーズをより楽しむための公演直前講座	日本唯一のフラ専門誌「フラレア」を創刊した編集長の平井氏を講師に迎え、フラダンスの歴史や地域ごとの特性、魅力について造詣を深めた。講座の後半には、メインホールに移動し、音のバランスを合わせるサウンドチェックや、出演者の立ち位置を確認する場当たりなどリハーサルを見学できる機会を設けた。公演鑑賞を控えた参加者にとって満足度の高い講演となった。	一般：500円 友の会：無料	42名	11千円
8月7日 (日)	メインホール	ナプア・グレイグ with ハワイアン・フラ・ダンサーズ -Halau Na Lei Kaumaka O Uka- JAPAN TOUR 2022	フラダンスの世界大会で優勝経験を持つトップレベルのフラチームを招聘。新型コロナウイルスの出国制限などが続いていたため、久々の海外アーティストによる公演となった。ダンスだけでなく、生バンドの演奏、ナプア・グレイグの美しい歌声に加え、趣向を凝らした照明演出など、公演としてのクオリティーの高さに、会場全体が熱い盛り上がり包まれた。	S席：5,000円 A席：4,500円	836名	4,175千円
9月	—	未実施	—	—	—	—
10月1日 (土)	メインホール	憧れのアーティストによる夢のレッスン 永峰高志 ヲイオリン・マスタークラス ※	11/27「N響メンバーによる弦楽四重奏」に出演する元NHK交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者の永峰高志氏によるマスタークラスを開催。受講者は、公募の中から審査を通過した小学生2名と高校生の計3名。各受講者が希望した曲目を指導した。楽器の構え方や弓の持ち方などの基礎的なアドバイスから、表情豊かに演奏するためのコツ、会場にあわせて音の響かせ方などの多様な指導が行われた。講師からの指導によって変化する楽器の音色に、受講生、聴講生ともに驚きの表情を浮かべていた。	受講：5,000円 聴講：1,000円	21名	30千円
10月2日 (日)	メインホール	サーカス45周年コンサート～We love harmony～	今年、結成45周年を迎え、1970～80年代に人気を博したヴォーカル・グループ「サーカス」によるコンサートを開催。オリジナル曲に加え、80年代前後に流行した人気曲を選曲し、大和公演の特別プログラムとして構成した。ウィットに富み、サーカスが持つ特有のあたたかなハーモニーに会場が包まれ、出演者とお客様の距離がとても近く感じられるコンサートとなった。	一般：4,000円	864名	3,529千円
11月27日 (日)	メインホール	N響メンバーによる 弦楽四重奏	国内最高峰のオーケストラ・NHK交響楽団に所属し、国内外で活躍する奏者4名によるコンサート。有名なクラシックの名曲の演奏に加え、出演者による楽器説明や作曲された時代の背景、曲の分析などのレクチャーも実施。一流のアンサンブルとともに楽しみいただいた。お客様からは、「レクチャーを聞いたことで、曲の新しい一面を感じたり、音楽の深みを楽しんだり出来た」「素晴らしい演奏に癒された」などのご意見が寄せられた。	S席：3,500円 A席：3,000円	723名	2,625千円
12月3日 (土)	桜丘学習センター	ワクワク弾む！こどものための クリスマスコンサート	やまとみらいの施設・桜丘学習センターと連携し、親子向け出張コンサートを開催。エリックオ（パーカッション、ギター）の二人組が出演し、童謡やクラシック、クリスマスメドレーなどを演奏した。参加者は30代を中心とした小さな子連れの親子。子どものペースに合わせて楽しめるよう、キッズシートエリアを設置し環境を整えるとともに、サンタに扮したスタッフから、お帰りのお客様へシリウスグッズのプレゼントを渡すなど演出面も工夫した。お客様からは、「子どもを引き付ける演出で集中してみてくれました。大人も楽しめました」「たくさん楽器が聞けて楽しかった」などの声が寄せられた。	無料	45名	0円

日付	会場	事業名	内容	料金	入場者数	収入
12月24日 (土)	サブ ホール	カフェと音楽 ～クリスマスブレンド・コン サート～	シリウス館内スターバックスコーヒーと連携し、コンサートを開催。スターバックスのバリスタによるコーヒーやカフェにまつわるエピソードトークを曲間に入れ、加藤文枝（チェロ）と小澤佳永（ピアノ）による温かな音色の演奏をお送りした。ホール内にコーヒーの香りを漂わせる工夫も行い、五感に訴える新しい形のコンサートを実現。お客様からは、「コロナも忘れて、嬉しい時間でした」「イヴの夜に素敵なコンサートをありがとう」とのお声が寄せられた。	無料	200名	0円
1月18日 (水)	メイン ホール	やまと寄席～特別版～ 落語のいろは	4月の校長会で学校アウトリーチ事業の提案をし、立候補があった引地台小学校の4年生～6年生にインリーチを実施。先生方の希望を確認し、大和市出身の落語家・柳家あお馬と紙切の林家楽一2名による構成とした。通常の公演と同様に指定席制を採用し、学校学習と連動するための番組作りや、終了後は舞台上と楽屋の見学などを、地元ホールならではの特別体験を盛り込んだ。子どもたちは、落語を聞きながら大いに笑ったり、紙切の技に歓声を上げたりと、楽しみながら伝統芸能に触れる機会となった。企画段階から、出演者の協力を全面的に得られ、次世代育成の一助につなげることができた。	無料	168名 児童、教員含む	0円
1月21日 (土)	メイン ホール	市民がつくるコンサート Vol. 4	大和市内で演奏活動を行う市民を対象に公募により出演者を決定。アコースティックギターとカホン、女声合唱と小型ハープ、バイオリン教室の3団体が出演した。小学生から年配層まで幅広い市民がステージに立ち、会場からは演奏に合わせた拍手なども起こり、アットホームな雰囲気包まれた。ステージ裏ではお互いに楽器を触らせてもらうなど、出演者同士の交流もあり、市民がつながる場となった。	無料	154名	0円
2月11日 (土) 12日 (日)	イモール 大和 ライコート	FMやまと×やまと芸術文化ホール presents バレンタイン “ちょこっと LIVE”	シリウス館内の地元FM局「FMやまと」と連携し出張イベントを実施。企画内容から出演者選定、広報宣伝、当日運営などの協議を行い企画実施に至った。広報では、これまでのチラシとは趣向を変え、エンターテイメント感溢れるデザインを採用。また番組出演によるイベントの事前告知、イベント当日の演奏を録音し、後日に番組内で取り上げる事後報告など、FMやまとにとっても新しい試みを行った。お客様は想定を超える人数が、両日ともにご来場され大盛況となった。市民と芸術文化がつながる良い架け橋にすることができた。	無料	11 (土) 240名 12 (日) 180名	0円
2月18日 (土)	メイン ホール	立春！能・狂言の世界 ※	主催公演として初となる「能・狂言」公演を開催。総合演出の味方 玄氏と協議の上、能・狂言の伝統的な上演形式を採用。またホール舞台上に能舞台を設営するなど、本格的な能公演が実現した。出演者には重要無形文化財総合指定保持者の片山九郎右衛門（能楽師）、野村萬斎（狂言師）の他、日本を代表する能楽師たちを迎え、チケットは発売開始後、短期間で完売と注目を集めた。お客様からは「能楽堂まで行かずとも、ホールで本格的な能公演を見られて良かった」「事前講座も公演もとても素敵でした」などのお声をいただくことができた。味方 玄氏からも「お客様も含め、とても良い公演でした。今後も是非継続して下さい」と嬉しい言葉をいただくことができた。	S席：4,000円 A席：3,000円	682名	2,575千 円
3月5日 (日)	メイン ホール	早春！やまと寄席 ～笑喜乱舞～	年間計画ではおでかけ事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響が未だに続き、受け入れ先との調整がつかなかったため、鑑賞事業に変更。伝統芸能の中でも落語公演を開催した。公演は、創作、上方、新作、古典と4種の落語を得意とする噺家たちに加え、大神楽、漫才と、落語の演芸場で開催される寄席の形を再現。公演時間は約3時間と長かったものの「大いに笑いました」「健康に笑いは必要です」など好評価のコメントをいただいた。	3,500円	363名	1,288千 円
3月18日 (土)	サブ ホール	みんなの音楽会Vol.3 鶴木絵里&中川賢一 【午前】 親子で楽しむバリアフリーコン サート 【午後】 大人が楽しむバリアフリーコン サート	今回で3回目となるバリアフリー公演。これまでの経験から「親子向け」と「大人向け」のターゲットに分け、別プログラムの2回公演にて実施。プログラム構成、公演時間、演出などにも工夫を凝らし、シリウスオリジナルの公演とした。鑑賞サポートは、これまでの手話通訳や点字プログラム、難聴者支援システムなどは継続しつつ、初の試みとして、UDトークによる文字支援と音楽の舞台手話通訳を追加した。公演では、お客様が歌に合わせて手話と一緒に表現したり、音楽にあわせて手拍子をしたりと、積極的に公演を楽しんでいる様子が見受けられた。アンケートには公演内容、鑑賞サポート、スタッフ対応など、さまざまな面に対して好意的なコメントが多く寄せられた。自由な楽しみ方で感動を共有する「バリアフリーコンサート」らしい、あたたかなひと時を過ごしていただくことができた。また、障がい者団体や近隣公共施設などの関係者の来場者も多く、注目度の高い公演となった。	大人：1,000円 子ども：500円	【午前】 162名 【午後】 100名	232千円
3月18日 (土)～ 26日 (日)	ギャラリー	造形作家 玉田多紀展 ダンボール 恐竜の世界	日常の中で身近にあるダンボールに命を吹き込む造形作家 玉田多紀の美術展を開催。素材の親しみやすさや、恐竜にスポットを当てた作品のわかりやすさも相まって、0～80代まで幅広い年齢層の方々がご来場された。会場内では、“アートを楽しむための仕掛け”として、写真撮影を可能としたり、触れられる作品を展示したり、制作体験エリアを設けたりするなど、展示方法や空間演出にも工夫を凝らした。作品をバックに写真撮影をする家族や、じっくりと作品を鑑賞する方、長時間にわたり制作エリアで作品づくりに没頭する子どもなど、想い想いの時間を過ごした。本美術展を通じ、「アートを身近に感じる」機会の創出につなげることができた。	無料	2,069名	0円
3月19日 (日)	ギャラリー	造形作家 玉田多紀展 ダンボール 恐竜の世界 関連イベント 玉田多紀のギャラリークルーズ	造形作家 玉田多紀が作品の説明をする特別企画を開催。ダンボール作品を作り始めるきっかけや、これまでの活動、今回展示している作品の説明、作品に込められた想いなどを紹介。また、小さい子どもを持つ母親としての視点などを交えながら、時にはコーモアを交えた軽快なトークでお客様とともにギャラリー内を巡った。作家本人から直接話を聞ける貴重な機会に、来場者からは質問も多く投げかけられ、一つ一つ丁寧に対応する玉田多紀の人間性と、作品への創造性に魅了される時間となった。	無料	20名	0円